

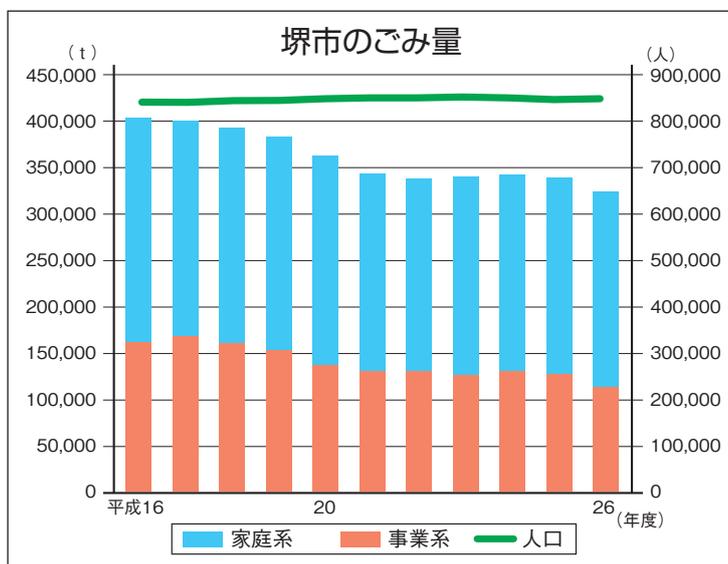
事業系ごみ減量情報紙創刊

この度、事業系ごみの減量化・資源化等をわかりやすく皆さんに知っていただくため、事業系ごみ減量情報紙「堺ムーSTYLE」を創刊することになりました。

平成26年度のごみ量は約32.5万トン うち事業系ごみ量*は約11.4万トン

*環境系ごみ量（公園や街路から発生する剪定枝や環境美化ごみの量）約0.6万トンを含みます。

本市では、ごみ処理基本計画において、平成27年度までにごみを約34.7万トンに減らすことを目標に掲げ、様々な取組みを進めてきました。平成26年度のごみ量は約32.5万トンで、ごみ処理基本計画策定時（平成16年度）の約40.3万トンと比べると、皆様の協力により約2割のごみを減量することができました。施設の老朽化や最終処分場の残余年数のひっ迫などから、今後もさらなるごみの減量が必要であるため、引き続き、ごみの減量と資源化へのご理解とご協力をお願いします。



☆ごみを減らすには？ 4つの『R』の実行が重要です！

本市では、ごみ減量のために、ごみの『4R運動』を推進しています。4つのRを基本に、事業活動と環境との調和が図られるようお願いいたします。今回から4回に分けて、優先順位の高い順に紹介していきます。

一番最初は、**Refuse (リフューズ)**・・・

ごみになるものは**元から断つ！**

例えば

- ◆ 荷物の運搬には、段ボールを使用せず通い箱などを使用する。
- ◆ 製造過程を見直すなどして不良品の発生率の低下を図る。
- ◆ 無駄なものや過剰な仕入れをしない。
- ◆ 過剰包装を控え、簡易包装を推進する。
- ◆ 書類や文房具などを共有化して使用する。など

Reduce (リデュース)

ごみとなるものを減量する

Reuse (リユース)

繰り返し使う

Recycle (リサイクル)

資源として再利用する



「事業系一般廃棄物減量セミナー」を開催

平成27年6月10日（水）堺市産業振興センターにおいて「事業系一般廃棄物減量セミナー」を開催しました。このセミナーは、廃棄物管理に必要な知識と廃棄物の発生から保管、リサイクル、処理委託、行政への報告など、事業系一般廃棄物の排出事業者としての責務に関する理解を深めることを目的に行いました。

セミナーでは「会社のグリーン化が大切なわけ～損なの？得なの？ごみ減量～」と題し環境カウンセラーの



▲環境カウンセラー 関本秀一さん

関本秀一さんから先進的な取り組みを行なっている事例などを交えたお話をさせていただきました。

関本さんは講演のなかで、会社や

事業所のグリーン化やごみの減量化に取り組む姿勢が社会的信用や価値を高め、結果として会社や事業所の利益につながることを強調されていました。

最後に、ダイキン工業株式会社堺製作所 原 宗一郎さんから事業所における取り組み事例の紹介と、ごみを減量化するうえで、苦労したことや工夫したことをたいへん分かりやすくお話していただきました。普段、なかなか聞くことのできないお話に参加者の方から「すごくためになった」「参考にしたい」といった声が多く聞かれました。



▲ダイキン工業株式会社 堺製作所 原 宗一郎さん

こんなこと
やっています!

クリーンセンターでの展開検査

堺市では、事業所などからクリーンセンターに持ち込まれた事業系一般廃棄物を展開して、その内容を確認する搬入物検査を実施しています。この検査においてプラスチックや金属等の産業廃棄物の混入が見つかることがあります。クリーンセンターへの産業廃棄物の搬入は、堺市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例で禁じられています。事業系一般廃棄物の中に産業廃棄物を混入しないよう適正排出に努めてください。

また、事業系一般廃棄物の中には、まだ多くの資源化が可能なごみが含まれています。特に大きな割合を占めている紙類を資源化することがごみの減量につながり、ごみ処理費用が削減できる場合もあります。分別を徹底し、引き続きごみの減量にご協力をお願いします。



堺市環境啓発担当
堺市環境マスコットキャラクター

ムーやん

「堺ムーSTYLE」のムーは「ごみが無くなる」の「無」でもあるし「ムーやん」の「ムー」でもあるよ!



●プロフィール●

- なまえ ごみが無くなる。「無がええやん」でムーやん
- 誕生日 5月30日(ごみゼロの日)
- 特徴 ポリパケツのような帽子、ぼっちゃりしたからだ
- 趣味 ごみの減量、ごみ拾い
- 好きなこと みんなといっしょに、環境活動すること

ムーやんツイッターやってるよ
アクセスしてね!

